

趣

弘前観光協会
「趣」のある建物
 散策マップ

弘前市には、弘前城天守をはじめとする歴史的な建築物や、明治・大正の洋風建築物などの文化財が数多く残されています。一方で、文化財には指定されていないものの、歴史と文化が息づく情緒豊かな建築物も数多く点在しています。

弘前市では、古き良き時代の風情を醸し出している建築物を「趣のある建物」として指定しています。

このマップ掲載外の「趣のある建物」

- ・一戸時計店
- ・開雲堂
- ・加藤味噌醤油醸造元
- ・川崎梁工場
- ・旧弘前市消防団西地区第四分団消防屯所
- ・津軽藩ねぶた村(蔵)
- ・真そばや會
- ・名曲喫茶ひまわり

など



一戸時計店



川崎梁工場

※店舗など営業している建物以外の敷地内への立ち入りは、ご遠慮ください。



弘前観光コンシェルジュが紹介する

追手門広場

散策マップ

弘前市立観光館 TEL 0172-37-5501



追手門広場周辺の建物めぐり



棟梁 堀江佐吉 (1845~1907)

津軽藩のお抱え大工・堀江家の五代目で、貧乏親が誇る洋風建築の先駆者です。函館で洋風建築の基礎を学んだといわれ、旺盛な研究心とその卓越した技能で、『青森銀行記念館(重要文化財)』を弘前に建てたのをはじめ、多くの傑作と佐吉の精神を後世に残しました。

このマップ掲載外の「堀江佐吉の建築物」

- ・旧弘前借行社 弘前厚生学院(重要文化財)
- ・大津岩記念館「料簡館」(重要文化財/五所川原市) など



大津岩の生家

大津岩記念館「料簡館」



旧弘前借行社 弘前厚生学院

第八師団の社交場でした。このポーチには、ある昆虫のレリーフが！



建築家 前川國男 (1905~1986)

新潟県生まれ。東京大学建築学科を卒業後、渡仏。パリにて近代建築の巨匠 ル・コルビュジエに学びます。帰国後、A・レーモンド事務所において設計活動を開始。弘前では自身の国内デビュー作『木村産葉研究所(登録有形文化財)』(現 弘前こぎん研究所)を手始めに多くの公共建築物を手がけています。近代建築の可能性を追求し続けた前川は、国内外数々の作品で日本近代建築界に大きな足跡を残しました。

このマップ掲載外の「前川國男の建築物」

- ・弘前中央高校講堂
- ・弘前市立病院
- ・弘前市斎場

「弘前は前川建築の宝庫」

弘前藩士の血を引く前川は、パリ留学中に国造事務所長を務めていた祖父・佐藤尚武を通じて祖父のあった木村隆三から養育され、帰国後に『木村産葉研究所』を手がけます。これが縁で弘前は前川とのつながりが深まり、半世紀に渡る前川のほぼ全時代の建築作品が残る、全国でも珍しい都市となりました。



弘前中央高校講堂

追手門広場 拡大マップ

＜凡例＞

- 前川園芸建築物
- 喫茶店
- 土手町循環100円バス
- 堀江匠吉建築物
- 銀行
- ためのぶ号往路バス停
- カメラスポット
- ATM
- ためのぶ号復路バス停
- 洋食
- WC
- 島屋バスバス停
- 和食
- P
- 駐車場



前身銀行記念館(重要文化財)

一等五重塔



明治天皇巡幸の碑

●青森地方裁判所弘前支部

大鼓の音は
ほんとにいい!



星川宣典氏の資料も、
ジョン・インク先生は、自身に
感銘をうけて紹介しました。



ガリバー
乳母で
復讐!

津波時の
アパート
「向は」

春 4月下旬～5月上旬には
ボリュームある桜に
うっとり!

展示して
地域情報も
チェック!

弘前展示館

津波時にタイムスリップ
がつかないまま降り参り
まつりの山車を見よ!

●宮森記念体育館



ミニチュア建造物群

お茶で
いただく
フレンチ

築100年以上
下町や喫茶店
だったことも。



今宮一碑

秋 10月下旬～11月上旬には
紅葉を満喫!

弘前駅方面

●陸軍新報社

道案内からおもて
加減のことならなんでも
どうぞ!!



郷土の味
ちのび。日曜朝

WC 弘前市立観光館

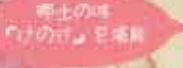
フレームの中に
映える洋館



弘前市立弘前図書館

弘前がかりの
文学者に由る

弘前市立郷土文学館



WC レストラン菓子門

最新の1時間
無料です。

ふりむくと
若木山
ビューポイント



弘前市立弘前図書館

バスプール(観光バス専用)



一等五重塔

11月の新緑のために
つくられた表門は、
坂道を登った
参道からでは見え

廣場開通100周年では、
大正天皇が参内した弘前公園の碑も、
碑文は弘前の由文、国史館蔵書も弘前に
伝承された書

ポストには
弘前ごの
オブジェ



弘前市役所

WC ATM ¥

P



宮森記念体育館

追手門重要文化財

廣場開通の碑

弘前公園

